

開館五周年記念

富岡鉄斎展

清荒神清澄寺コレクション

9月25日(金)～10月18日(日)

刈谷市美術館

開館時間 午前9時～午後4時30分

(9月25日は午前10時開館)

休館日 毎週月曜日

入館料 一般500円(400円)

高・大生300円(200円)

小・中生200円(100円)

()は10名以上の団体

鉄斎作品研究会

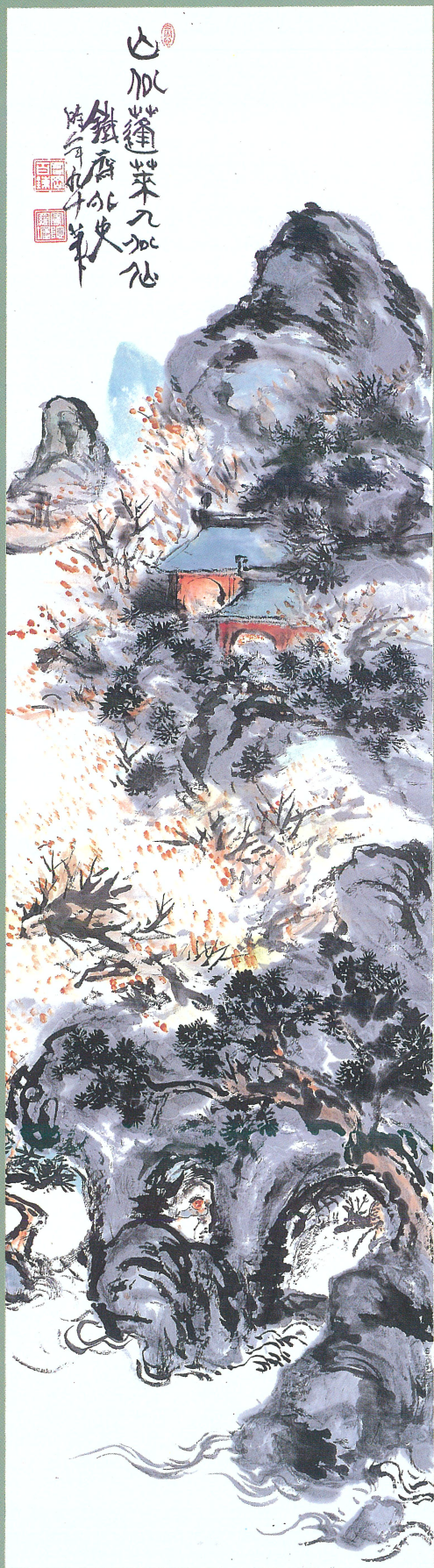
10月10日(祝) 午後1時～4時

※作品鑑定ご希望の方はお持ち下さい(無料)

主催 刈谷市 刈谷市教育委員会 中日新聞本社

後援 愛知県教育委員会

協力 鉄斎美術館



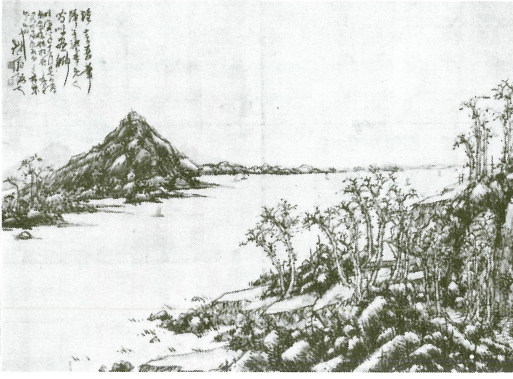
蓬萊仙境図 89(90)歳

鐵齋

富岡鉄齋は幕末の激動期から明治の変革期をへて大正にわたる三代を生きぬき、八十九歳を一期としてその生涯を終えました。

儒者としての深遠な古今和漢の学識を背景に、中国の明清画をはじめ、日本の大和絵、琳派、大津絵などあらゆる諸画派の技法を自家薬籠中のものとし、またその画品、鮮烈な色彩感覚、斬新な表現力、重厚で緻密な造形力においても稀有な筆力を発揮しました。まさに近代文人画の巨匠として独自の画風を展開し、国内はもとより国際的にも高い評価を得ています。

本展は、開館五周年記念にあたり、鉄齋芸術の良き理解者であり、その作品蒐集で著名である宝塚市の清荒神清澄寺の所蔵品の中から名品百二十点をお借りして、偉大な画業をしのんでいただくものです。



寒江萬里図 38歳



丈夫心事二行書 85歳



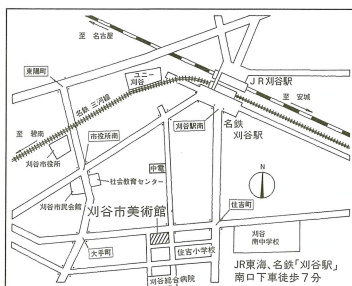
寿老人図 89歳



昇天龍図 89(90)歳

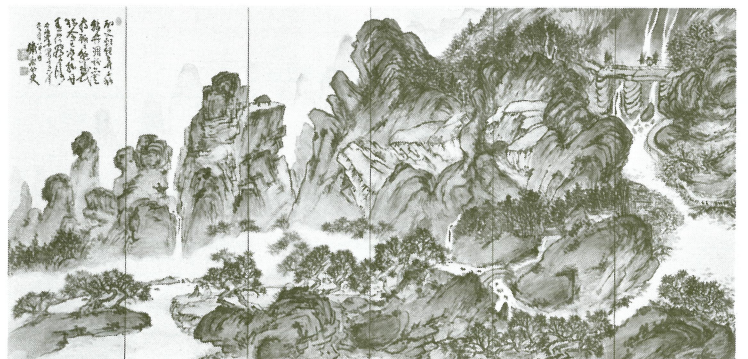
略年譜

- 一八三六年(天保七年) 十二月十九日 京都の法衣商、富岡維叙の次男として生まれる。戸籍名は百鍊字は無庵、号は鐵齋。
- 一八四一年(天保二十二年) この頃より、句読の手ほどきをうけ、長じて国学、漢学、陽明学などの諸学問を修める。
- 一八五四年(安政元年) この頃より画の初歩を学びはじめる。小田海仙、浮田一蕙などを訪ね、裨益することが多い。
- 一八六一年(文久元年) 長崎に旅行する。本格的に南画を学ぶ。
- 一八七六年(明治九年) 石上神社少宮司を拝命の後、大鳥神社大宮司に任命される。
- 一八九〇年(明治二十三年) 京都美術協会委員となる。
- 一八九四年(明治二十七年) 京都市美術学校修身科教師となる。
- 一八九七年(明治三〇年) 日本南画協会発足にあたり、商議員となる。
- 一九一七年(大正六年) 帝室技芸員に任命される。
- 一九一九年(大正八年) 帝国美術院会員に任命される。
- 一九二四年(大正一三年) 十二月三十一日 急逝。



刈谷市美術館

刈谷市住吉町4丁目5番地 Tel:(0566)23-1636



青緑山水図 77歳